

共創：パートナーとの協力による開発効果の拡大

JICA Biz（中小企業・SDGsビジネス支援事業）

日本企業の技術やアイデアを活かし、開発途上国が抱える社会課題の解決につながるビジネスづくりを後押しする取り組みです。タイ政府との強固なネットワークと信頼関係を活用し、現地の課題の見える化から実証、ビジネス化に向けた伴走支援まで一貫してサポートします。民間企業との共創を通じて、社会価値と経済価値の両立をめざします。



◀今野製作所の「着脱式運転補助装置普及・実証事業」では下肢障がい者が手のみを使って運転できる運転補助装置の普及のための実証事業を通じて、障がい者の社会参加や就労機会の拡大を目指します。

TCTP※（第三国研修）

JICAとタイ国際協力局（TICA）が日タイ・パートナーシップ（JTTP）の下で協働実施する三角協力の枠組みです。タイの政府機関がこれまでの経験やJICAの支援で培った人材や能力を活かし、アジア・アフリカなどの開発途上国から研修参加者を受け入れています。農業、保健医療、産業人材育成、行政能力強化など幅広い分野で人材育成を実施しています。

※ Third Country Training Program



◀アフリカ向け稲作技術研修には、アフリカ各国から多くの行政官や農業普及員が参加しています。カセサート大学の講師による講義や演習を通じて技術を学んでいます。

イノベーション：社会課題の新たな解決策の創出

SATREPS※（地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム）

日本と相手国の研究機関が協力し、科学技術で地球規模の課題に挑む国際共同研究プログラムです。環境、エネルギー、防災、感染症などの分野で、社会課題に向けた実践的な解決策の創出を目指します。

※ Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

▶タイで実施中のSATREPSの一つ、「タイ国におけるレジリエンスの強化のための道路と橋梁のライフタイムマネジメント技術の開発」では、道路・橋梁の長寿命化に向けた評価技術・耐久性向上技術の開発を、日タイ共同で進めています。これにより、タイのインフラの安全性と強靱性の向上に貢献しています。



JICA海外協力隊の派遣

JICA 海外協力隊派遣プログラム

日本国民が国際協力に参加する市民参加型協力プログラムの一つです。「JICA海外協力隊」と呼ばれる隊員が世界中に派遣され、地域に根ざした活動を通して、現地の人々と共に社会課題の解決に取り組んでいます。タイでは1981年にプログラム開始。これまでに1,100名以上の隊員がタイで活動してきました。2026年2月現在は、タイ国内20県で40名の隊員が以下の4分野を中心に活動しています。

- 産業人材育成（コンピュータ技術、日本語教育、工作機械、等）
- 地方の持続的産業発展（コミュニティ開発、観光、マーケティング、等）
- 環境対策（環境教育、廃棄物処理、等）
- 社会的弱者支援（障害児・者支援、高齢者介護、青少年活動、スポーツ、等）



JICA - WHO WE ARE

Japan International Cooperation Agency

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。

開発途上国が抱えるさまざまな課題解決に向け、技術協力、有償資金協力、無償資金協力という3つの援助手法を一元的に手がけることで、より速く、より効率的に効果の高い援助を実施します。世界中の国や機関等多種多様なパートナーとの共創を進め、持続可能な社会の実現に貢献します。

FOLLOW US ON
JICAタイ事務所
FACEBOOK



JICAタイ事務所公式ホームページ

www.jica.go.jp/overseas/thailand/index.html

JICA公式ホームページ（日本語）

www.jica.go.jp

JICA公式アカウント（日本語）

<https://www.facebook.com/jicapr>

<https://www.youtube.com/user/jicachannel>

タイ事務所
31st floor, Exchange Tower, 388 Sukhumvit Road, Klongtoey
Bangkok 10110, THAILAND
アソーク駅（BTSスクンビットライン）またはスクンビット駅（MRTブルーライン）から当ビルまでスカイウォークでお越しいただけます。
(66-2) 261-5250 ti_oso_rep@jica.go.jp



独立行政法人 国際協力機構

タイ事務所



信頼で世界をつなぐ
Leading the world with trust

日本とタイの開発協力の歩み — Since 1954

日本のタイへの開発協力は2024年で70周年を迎えました。1954年、21名のタイ人研修員を日本に受け入れたことが「日タイ協力」の出発点となりました。

その後、日本はタイの経済成長と社会発展を支えるため、公的組織や社会システムの整備・向上、それに必要な人材育成、及び橋梁・港湾・道路・鉄道・発電所・上下水道・産業団地などの社会基盤となるインフラ整備を幅広く支援。

こうした長年の協力の成果は、現在のタイの発展を支える重要な礎として生かされています。



JICA at a Glance 協力実績 (タイ) 2024年度までの累計

32,857名
タイからの
研修参加者数

29,370名
専門家・研究者
派遣数

1,170名
協力隊派遣数
2026年現在、
20 県に派遣中

無償資金協力
105件
1,320
億円

技術協力
2,490.5
億円

有償資金協力
246件
2.4289
兆円

首都バンコクの発展を支える日本のインフラ事業



鉄道レッドライン



地下鉄パープルライン

ドムアン空港



Photo:MRTA

バンケン浄水場



Photo:AOT



チャオプラヤ川にかかる
14の橋の建設・補修



スワンナプーム空港

タイと共に次世代の共創へ

タイが大きな経済成長を遂げる中で、JICAの協力も「対等なパートナー」として共に歩む形へと進化してきました。近年では、高齢化への対応や防災能力の強化、気候変動対策や地方活性化など、日タイ双方が直面する共通課題に協働で取り組み、共創と持続可能な発展をめざす取り組みを進めています。

主な実施中の協力プロジェクト

気候変動対策



バンコク雨水排水マスタープラン策定支援

気候変動の影響で近年頻発するバンコク首都圏の内水氾濫を緩和するため、雨水排水マスタープランの策定と、同計画に基づくパイロット事業の実施促進を行います。

都市交通



バンコク首都圏都市鉄道整備交通需要の増加に対応し、バンコク首都圏の深刻な交通渋滞を緩和するため、都市鉄道路線の新設や運営維持管理を支援します。

社会福祉



Smart & Strong プロジェクト

(地域密着型高齢者ケア)
日本の自治体やNGO、様々なパートナーとともに、地域に根ざした持続可能な高齢者ケアの仕組みづくりを進める取り組みです。

保健医療



J-CEFA
Japan's
Cooperation for
Establishment and
Functionalization of
ACPHED

ASEAN感染症対策センター 設立支援

COVID-19の世界的拡大を契機に、ASEAN域内の公衆衛生危機や新興感染症への準備・探知・対応を行う中核拠点として整備が決定した対策センターの設立を支援します。

産業発展の推進



産業人材育成プロジェクト (Thai-KOSEN)

タイの産業高度化・多角化を支える実践的なエンジニアを育成するため、日本の「高専(KOSEN)」教育モデルを導入する取り組みです。

農業・地方開発



タイフィッシュプロジェクト

タイ在来種であるアジアズキおよびバナナエビの持続的な養殖技術を共同開発し、食料安全保障と生態系保全に貢献します。タイ国内の民間養殖場に導入することで、地域市場への供給を目指します。

DX (デジタルトランスフォーメーション)



ASEANサイバーセキュリティ 能力向上支援

日・ASEANサイバーセキュリティ能力構築センターにおける研修や人材開発プログラムを通じて、ASEAN地域全体のサイバーセキュリティ人材の育成を支援します。

環境対策



PM2.5削減支援

乾季にはPM2.5がWHO基準値の3~6倍に達することもある首都バンコク。PM2.5削減のための国家行動計画の策定や同計画に基づく工業省産業事業局による排ガス規制の執行強化等を支援します。